

日本ゼオン各事業所

高岡工場

高岡工場について

【設立】

1956 年

【主な機能・製品】

水素化ニトリルゴム、電子材料の製造

高岡工場は塩化ビニルの量産工場として発展してきました。塩化ビニル事業から撤退後は、水素化ニトリルゴムと電子材料を主力製品としています。



高岡工場全景

【近年の状況】

近年は工場内に精密光学研究所とメディカル研究所が加わり、ゼオンの最先端技術が集中した研究開発型工場となっています。

事業所の方針(工場長より)

高岡工場は、将来のゼオンを担う新事業の生産拠点となるために、『安定・安全・技術の見える化を実現させ、コストを意識した自在な生産体制を構築し、変化に強い研究開発型工場に生まれ変わる』をありがたい姿に掲げ、2016 年度は『徹底的に生産革新に取り組み、安定・安全な工場に変わる』を方針として、以下の活動を行っていきます。



高岡工場長 渡辺 誠

1. 安全・環境・保安指標ゼロ！を達成する。
2. 生産革新・プロセス革新を進め、工程異常・負荷ゼロを実現する。
3. 事業部と一丸になって、新製品の生産技術開発を推進する。
4. ムダゼロを目指すとともに、一人ひとりが健康指標を改善する。

安全への取り組み

【方針】

1. 保安事故・保安異常の発生“ゼロ”を追求していきます。
2. 事業所の特徴を自覚し、保安管理活動に取り組みます。
3. 保安関連の法令、協定及び自ら定めた規程類について遵守します。
4. 継続的に改善を進めます。

環境負荷削減の取り組み

【方針】

開発段階から製造段階まで環境に及ぼす影響を考慮して作業を進める。
社員全員で省エネに取り組むことで、さらなる省エネ工場を目指す。

【具体的な取り組み】

1. 有害化学物質排出量削減

ゼロエミッションを目標に、製造に使用する有機溶剤の回収設備を新設し、段階的に削減する計画を進めています。

2. 産業廃棄物削減

産業廃棄物の埋立処分量ゼロを継続中です。

新設備稼働にあわせ 100%再資源化する方法を検討し、埋立処分量ゼロを維持していく考えです。

3. 大気・水質への負荷削減

2013 年 12 月度より、燃料を A 重油から LNG※に変更したボイラーを稼働し、CO₂ の大幅削減を進めています。

※ LNG

液化天然ガス。燃焼したときの CO₂ 排出量が石油より少ない利点がある

4. 省資源・省エネルギー

2013 年 12 月度より省エネ・高効率のボイラーを稼働し、省エネに取り組んでいます。

また、電力使用ピーク時を避けて、電力使用の平準化に対応しています。

5. 環境関連データ

高岡工場		2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
PRTR 法対象物質	使用量(トン)	223	125	16	21	17
	排出量(トン)	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	4,730	4,882	12,494	8,794	7,309
	減容後発生量(トン)	529	535	1,056	437	363
	埋立処分量(トン)	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
大気排出	CO ₂ 排出量(トン)	20,132	23,329	22,546	20,825	20,964
	SO _x 排出量(トン)	6.8	9.5	3.2	0.0	0.0
	NO _x 排出量(トン)	15	19	13	2.0	2.5
	ばいじん排出量(トン)	0.7	0	0	0.0	0.0
	フロン類漏えい量(トン CO ₂)	—	—	—	—	47.6
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		3,808	4,052	3,732	3,848	3,804
排水	総排水量(千 m ³)	3,398	4,408	4,890	3,322	3,213
	COD 排出量(トン)	13.0	14.3	18.9	12.7	12.6
	全リン排出量(トン)	0.7	0.5	0.8	0.3	0.3
	全窒素排出量(トン)	16	19	20	14	13.6
エネルギー	使用量(原油換算、kL)	8,994	8,868	8,986	8,290	9,380
	原単位指数(90 年度を 100 とした比率)	96%	103%	104%	92%	102%
換算生産量(トン)		4,866	4,295	4,433	4,617	4,617

品質保証の取り組み

【方針】

直行率※100%実現を目指します。

※ 直行率

生産ラインに投入された製品が検査に合格する比率。直行率 100%は不良品なしを意味する

【具体的な取り組み】

品質異常の根本的原因をサイエンスに基づいて解明(見える化)し、対策を実施します。

社員とともに

【方針】

高岡工場では、「従業員ひとり一人の能力を引き出し、育成し、活かす」を目的に人材育成を行っています。

【具体的な取り組み】

教育の柱として、基礎教育、環境安全教育、職能教育、品質管理教育を掲げ、「高岡工場教育体系図」として体系化し、教育を実施しています。入社1年目から3年目までは、当社水島工場に設立された『ものづくり研修所』に定期的に派遣し、「ルールを守り、ルールを改善できるオペレーターの育成」を行っています。

また、プラントの運転管理に必要な運転知識についてはOJTを中心とした操業技能に関する教育および緊急処置訓練、異常想定訓練による実地教育、原理・原則については、化学工学教育(CAI活用)による教育を実施しています。

地域との共生

【具体的な取り組み】

1. ボランティア活動を通じた地域への貢献

- ・工場周辺地域の美化活動
- ・氷見海岸清掃
- ・伏木国分海岸清掃

2. 地域との交流

- ・ゼオン高岡グループ納涼祭の開催
- ・産学官交流会「二上まんしょう会」に参加
- ・高岡市の「高岡万葉まつり」に参加



氷見海岸清掃



「万葉集全 20巻朗唱の会」で万葉集を朗唱する従業員